

学生からのコメント

数理科学科の皆さん、こんにちは！栗原研学部四年生の中村想と申します。

われらが栗原研は現在、栗原先生、PDの先輩が二人、博士課程の先輩が一人、修士課程の先輩が五人、そして学部生が四人という構成になっています。

学部生は週に一回のセミナーを通して、整数論の初歩を学習します。現在私たちが読んでいるのはPierre Samuel著「数の代数的理論」です。(別のテキストを参考にして発表することもあります。)Samuelの本は代数系の研究室では標準的に用いられる教科書で、デデキント環の性質やディリクレの単数定理、素イデアルの分岐などが扱われています。学部生のセミナーは基本的に栗原研のメンバー全員が参加し、緊張感を持って取り組んでいます。そこでは数学的に正しい議論だけでなく、聞いていてわかりやすい説明を求められます。そのためには個々の厳密な演繹に終始することなく、理論の大局的な理解、定理や定義などの直感的な理解や様々な具体例をよく吟味することが重要です。そのための準備は楽ではないですが、毎回楽しく発表させていただいております。また、栗原研の先輩は本当に優しくて親しみやすい方ばかりで、こちらの質問にも親切に答えてくださいます。疑問をすぐにぶつけることのできる先輩方の存在はありがたいばかりです。

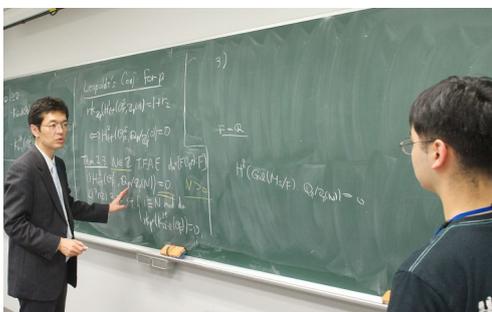
さて、栗原研は年中セミナーだけをやっているわけではなく、イベントがいろいろとあります。毎年、春と秋には早慶戦の応援に行きます。私も今年の春、生まれて初めて早慶戦を観戦しました。勝てば慶応が優勝というこの試合



2017年富士での合宿

初めは勝っていたものの、逆転負けを喫してしまいました。残念でしたが、また秋に期待したいと思います。夏休みには合宿があります。今年は山梨で行われました。今回はあいにくの雨模様で、富士山を眺めることができませんでしたが、セミナーは楽しい雰囲気で行われました(ちなみに学部生の私たちはグレブナー基底について発表しました)。夜には飲み会？やボードゲームで大盛り上がりでした。栗原研はお酒が好きな方が多く、何かイベントがあるたびに飲み会が付随する気がしています。私も合宿で用意されたお酒の量には驚かされました。しかし飲まない方もご安心下さい。私も一滴も飲みませんから。最後ですが、栗原研は素数や整数論、群・環・体といった代数に興味がある方にはうってつけの研究室だと思います。もっと栗原研のことを知りたい！という方は、”栗原研超公式サイト”へどうぞ。セミナー見学も(勝手に)歓迎いたします。

教員からのコメント



整数論を研究しています。数の世界に入っていくと、深く進めば進むほど美しい世界が広がるのです。

ちょうど、山に登ったときに、いよいよです。自分で汗をかいて登って上に行けば行くほど美しい景色が格別です。数理工学科に来て、数学を勉強してみると、今までの数学は子供向けのものだったことがわかると思います。皆さんも、数理で本物の数学に出会いませんか。数理工学科で数の世界の神秘を体験してほしいと思います。

<http://www.math.keio.ac.jp/~kurihara/messages/index.html>
に各年の学生からのコメントがありますので、参考にして下さい。